教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 西嶋保子
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2017/5・1
No. 1928

2面
・第67次兵庫県教育研究集会（ひょうご教育フェスティバル）にむけて
・兵教組ホームページの活用を！

子どもの最善の利益を追求し、人権尊重、共生教育の推進を

第1回教文部長会開催

4月25日、ラッセホールで第1回兵教組教文部長会がおこなわれた。

冒頭、森戸書記長は、今年が兵教組結成70周年、兵庫教育文化研究所設立40周年であることに触れ、「次の時代を担う青年層にこれまでの運動の成果や教育研究活動をしっかりと語り継ぎ、日常的に『組合活動の見える化』運動をすすめていかなければならない」とあいさつした。（抜粋掲載）

当面する教育改革運動の推進では、憲法・「子どもの権利条約」の理念を具体化し、教育制度改革をめざすとりくみが挙げられた。

「特別の教科 道徳」の小学校教科書について、外部からの不当な影響により、採択結果が左右されることのないよう動向を注視するとともに、本部・地域組合が連携してとりくみをおこなうことが確認された。

また、「17全国学力・学習状況調査」（4月18日実施）に対しては、調査結果の利用・公表如何によっては「序列化・過度の競争」が懸念されるため、本部・地域組合・分会が連携して、県教委、各地教委・学校長に対してのとりくみを強化するとした。

兵庫教育文化研究所は、研究体制・研究内容のさらなる充実をはかり、教育総研や地域組合教育研究委員会・研究所と連携して、教育改革の実現をめざした教育研究活動をすすめる。

そのとりくみとして、「こども虐待」の現状を把握し、学校・家庭・地域が手を携えて子どもたちの安心・安全を追求するために、「教育課程実態調査」と「17年度『子ども虐待』実態調査」を、ともに5月に実施することが確認された。

子どもの最善の利益を追求し、人権尊重、ともに生き、ともに学ぶ教育の推進として、「①人権教育ひょうご第20回総会・学習会への参加。②『インクルーシブのつぼみ～ともに育ちあい、学びあうための10の提言』を活用したインクルーシブ教育への理解の深化。③『教え子を再び戦場に送るな』のスローガンのもと、兵庫における実践の深化と参考資料となる冊子の制作。特別事業「ヒロシマ・フィールドワーク」の開催。④ジェンダー平等（男女共生）教育のとりくみをすすめること」が確認された。

「学びたいことが学べる」高校教育改革と受験競争緩和をめざしたとりくみでは、今年度設置される通学区域改編に関する検証委員会において、現場実態をふまえ意見反映をおこなうとした。

引き続き、2017年度兵教組第1回教研推進委員会が開催された。（裏面掲載）

書記長あいさつ（抜粋）

06年に教育基本法が改正されて以降、全国学力・学習状況調査、教員免許更新制の導入、小学校外国語活動の必修化、道徳の教科化にむけた教科書検定・採択がすすめられてきた。そして3月末に告示された学習指導要領では、小学校高学年の外国語科、中学年の外国語活動の導入、授業時数も増加。さらに「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までが明記され、「資質・能力の育成」「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」の充実が改訂のポイントとしてあげられている。子どもたちを目標達成にむけて追い立てることにならないよう、子どもや地域の実態に即したゆたかな学びが保障されるようとりくむ必要がある。

森戸書記長

また、文科省は18年度から使用される教科用図書検定の審議結果等を公表。

小学校道徳の教科書は、「学習指導要領の示す内容に照らして、扱いが不適切である」「項目との関係が明示されていない」等、誤記載を含め244件の検定意見が付き、各出版社が「パン屋さん」を「和菓子屋さん」、消防団の「おじさん」を「おじいさん」に修正するなどの対応をおこない、66冊すべてが合格となった。

出版社は、学習指導要領をもとに「節度、節制」「家族愛」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」等の内容項目すべてを教科書で扱っている。

学校現場では、地域、子どもの実態に即してすすめる授業づくりが何より大切。子どもはこうあるべきという既成の価値観にとらわれず、子どもが多様な価値観に気づき、互いに認めあいながらそれぞれの個性を尊重する学びが重要である。「検定」によりつくられた画一的な教科書で、一定の価値観や規範意識が押しつけられることで、多様な個性、多様な価値観を認めない社会へとつながることが懸念される。

「いきる つながる みちひらく」をキーワードに地道に教育研究活動や教育課程の創造的な編成をすすめることが大切である。

「いきる つながる みちひらく」をキーワードに
地道な教育研究活動や教育課程の創造的編成を

第88回兵庫県メーデー神戸中央大会

4月29日（土・祝）、神戸・大倉山公園野球場で、第88回兵庫県メーデー神戸中央大会が「長時間労働の撲滅、ディーセント・ワークの実現、今こそ底上げ、底支え、格差是正の実現を！」をメインスローガンに開催され、兵教組約8，000人（主催者発表）が結集した。

冒頭、連合兵庫の辻芳治会長は、組織内国会議員であった本岡昭次元参議院議員副議長をはじめ、志半ばでご逝去された諸先輩、働く仲間の御霊に対し、黙祷を捧げた。

また、17春闘での4年連続賃上げ回答や非正規の処遇改善の成果を挙げ、この流れを波及させていく、粘り強いとりくみを呼びかけた。次に、「働き方改革による長時間労働の是正」について、「労基法70年の歴史の中で大改革。社会全体の意識や行動を大きく転換させる意義を持つ。法制化の流れはゴールではなく、スタート」とし、「労働組合の私たちこそが、職場や地域での社会的な役割を発揮し、過労死、過労自死ゼロ、長時間労働の撲滅へと力強く踏み出す」と訴えた。

「共謀罪」については、「一般企業や労働組合、市民団体などが捜査の対象になりうる懸念や、実行準備行為が拡大解釈をされる恐れ、行き過ぎた捜査手法により、基本的人権が侵害される可能性が高い」とし、「一億総監視社会、密告社会につながりかねない。極めて深刻な問題をはらんでいる」とした。そして、「私たち、連合に集う一人ひとりが暮らしの底上げ応援団の一員として、積極的な行動参画により、広く世の中の共感を呼ぶような運動をめざして邁進しよう」と呼びかけた。

来賓には、井戸敏三兵庫県知事や久元喜造神戸市長、民進党県連代表の井坂信彦衆議院議員（兵庫1区）らが駆け付けた。

東日本や熊本地震の被災地支援や格差是正などが盛り込まれたメーデー宣言と長時間労働の是正にむけた特別決議が採択され、ガンバロウ三唱で会は締めくくられた。

式典終了後、2コースにわかれてデモ行進し、メインスローガンの横断幕に続き、参加者はプラカードを持ち、住民や通行人にアピールした。

長時間労働の撲滅、ディーセント・ワークの実現、今こそ底上げ、底支え、格差是正の実現を！

教職員共済の「医療共済」で、1日あたり5,000円程度の入院保障を用意しておきませんか?

たとえばこんなプラン！

基本契約5口
入院 医療共済金
1日なつき 5,000円
（ガン入院は10,000円）
1泊2日以上の入院を保障。
一般の入院は1入院につき年間180日まで。ガン入院は日数無制限。

＋

手術特約5口
手術 手術共済金
手術の種類により
20万円・10万円・5万円
所定の手術を受けたとき保障。
日帰り手術も対象。

＋

先進医療特約（口数なし）
先進医療 先進医療共済金
自己但した技術料相当額
（最高1,000万円）
所定の先進医療を受けたとき
自己負担した技術料を保障。

月掛金
40歳以下の場合 1,177円
41歳～60歳の場合 1,897円

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしん むすぶ
教職員共済

資料請求・お問い合わせは

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F

電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199

承 16-56-39（1609）

第67次兵庫県教育研究集会（ひょうご教育フェスティバル）にむけて

兵教組第１回教研推進委員会

教文部長会に続いて、第１回教研推進委員会がおこなわれた。２０１６年度の経過報告の後、協議事項では第67次教育研究活動の推進について提案。

その他、「第38回あすをひらく美術教育展」、「第24回『いのちの教育』手づくり教材・教具展」の募集要項、「ひょうご２０１７『こどもの詩と絵』第38集」、学校厚生会が主催する「アートホール神戸 写真公募展～こどもの世界～〝愛〟」、「親から子へ 子から親へのハガキ大募集」の作品募集についても紹介された。

また、各地域組合での「開かれた教研」についてのとりくみや地域リポーターの確立について、４グループに分かれて意見交流された。

兵庫教育文化研究所
大野 圭一 事務局長

第67次教育研究活動の推進について

各地域組合・分会での教育研究活動（教研活動）推進のとりくみとして

○保護者・地域の方々のリポート参加を呼びかけ、「地域の子育て」「地域の教育改革」等について分科会で交流が深められるようにとりくむ。

○職場を基盤とした分会教研のとりくみの活性化をはかり、地域教研へと積み上げ、県教研で報告する体制を確立する。

各地域組合の交流では、昨年度の教育研究活動や「開かれた教研」についてのとりくみなどを報告しあった。また、各地域組合ごとの今年度の地域教研の構想や課題を共有することで、それぞれの地域組合での活動やとりくみの参考としていた。

地域教研は全組合員参加で

○教研推進委員会を開催し、具体的な計画を立案。実践の交流と研究協議を深め、県教研への参加者を決定する。

第67次県教研リポート提出者について

○地域教研で論議された研究内容、メイン・テーマにそった研究の成果をもりこみリポートを作成する。

○これまでの教研活動の成果の上に立ち、子どもの実態を深く見つめ、具体的な実践における子どもの変容・育ちが見える書き方を工夫する。

○『兵庫の教育第66集〈第67次教研活動のてびき〉』を熟読し、リポートに反映させる。

保護者・地域の方々・はたらく仲間との連帯強化をめざし、「開かれた教研」を継承・発展させるための計画を

○リポーターは、全日程参加を原則とし、代理参加など、リポーター席を空けない体制を確立する。

○各地域組合から、複数人の保護者・地域の方々のリポート提出者の出席を要請する。

○地域リポーターへ、報告日の希望や報告時間帯、持ち時間等事前にお知らせするなど、最大限の配慮を心がける。

○分科会討議の場では、お互いの立場を尊重した言動に留意するよう促す。

第67次教育研究全国集会にむけて

○第67次県教研の課題をふまえ、地域教研の集団討議を経たリポートを選出する。

○リポーター、司会者、共同研究者が「全国教研リポーター選出の原則」にもとづき、話し合いで決定することを原則とする。安易な無記名投票による決定や立候補を募るような方法はとらない。

その他、募集について

○第38回「あすをひらく美術教育展」
10月13日（金）〆切

○第24回『いのちの教育』手づくり教材・教具展」
10月13日（金）〆切

○『ひょうご２０１７ こどもの詩と絵』第38集
詩＝11月10日（金）〆切
絵＝11月24日（金）〆切

国教研リポート提出者打ち合わせ会を開催し、意思統一をはかる。

兵庫県学校厚生会

○「アートホール神戸 写真公募展～こどもの世界～〝愛〟」
7月7日（金）〆切

○「親から子へ 子から親へのハガキ大募集」
6月23日（金）〆切

これら募集の中で、『ひょうご２０１７ こどもの詩と絵』以外の応募作品は、県教研会場でも展示される。

※募集について、詳しくは各地域組合書記局へ問い合わせを。

兵教組ホームページ http://www.hyokyoso.net/

兵教組ホームページの活用を！

兵庫県教職員組合（兵教組）のホームページ

なかでも、組合員のみなさんに役立つ情報を数多く紹介しているのが**「組合員専用ページ」**。「組合員の権利」や「兵教組の活動を紹介する動画」などに加え、近年は特に教研活動に力を入れ、各教科・課題別教育の研究部会で実践された、授業の指導案・資料も掲載。また、「特別の教科 道徳」や「同和・人権教育」でも役立ちそうなコンテンツも充実している。

まず「兵教組」を検索。HP 画面右下の「兵庫県教職員組合組合員専用ページ」バナーをクリック「ID、パスワード」の入力ウィンドウが表示される。入力後、組合員専用ページへ

※「ID、パスワード」は各地域組合ごとに違うため、所属の地域組合書記局にお問い合わせを。

兵庫県民大学第40期教育講座

子どもたちのゆたかな未来につながる子育てネットワークの構築を

教文部長会、教研推進委員会に引き続き、兵庫県民大学第40期教育講座 地域組合事務局代表者会議が開催された。

家庭の経済格差が教育格差を生み、子どもが安心できるはずの家庭においても、子どもも虐待や育児放棄といった子どもが被害者となる事象が増加している現状がある。

こういった状況の中、私たちは子どもたちに「ゆたかな学び」を保障するため、教育を社会の中心課題にすえて、社会的対話をすすめていく必要がある。その一翼を担うのが「兵庫県民大学」である。

「地域の教育コミュニティ」を再生し、子どもとともに「共生社会」を実現するために、知恵を結集し、連携をはかり、真に子どもたちのゆたかな未来につながる子育てのネットワークを構築していこう。

レストランリビエラ 春のバンケットプラン

2017年3/1(水) ▸▸ 2017年5/31(水)

レストランパーティープラン

15:00～21:00の間、2時間制となります
個室利用はできません

レストラン リビエラ ※8名様～

「春の味わい」コース

お一人様（税金・サービス料込） 3,800円コース（2時間制 要予約）

卓盛りメニュー
◆シーフドサラダ オーロラソース（海老烏賊スモークサーモン）
◆ローストポークと彩り野菜
◆若鶏のアーモンド衣揚げ
◆串つくねの餡かけ
◆とろとろ玉子のチキンライス
◆椀子蕎麦
◆フルーツ盛り合わせ

「春の装い」コース

お一人様（税金・サービス料込） 4,400円コース（2時間制 要予約）

卓盛りメニュー
◆春野菜とシーフードマリネ
◆ローストビーフ
◆鰹のたたき皿鉢盛り
◆豚肉とカリフラワーの塩だれ炒め
◆チキンとじゃが芋のグラタン
◆サラダ巻き寿司
◆椀子蕎麦
◆フルーツ盛り合わせ

フリードリンク ◆瓶ビール ◆焼酎（麦/芋） ◆ウィスキー ◆ハイボール ◆赤/白ワイン ◆各種サワー ◆梅酒 ◆ウーロン茶 ◆オレンジジュース

※30名様から貸し切り利用可（マイク2本無料）

写真はイメージです

写真はイメージです

神戸開港150年記念ランチ

150th Anniversary PORT OF KOBE

お一人様（税金・サービス料込） 1,500円コース

レストラン リビエラ ※2名様～

11:00～14:00のご利用となります。個室利用はできません。

神戸開港150周年を記念して、神戸牛やいかなご釘煮など、神戸の食材を使った記念ランチをご用意いたしました。この機会にぜひご賞味ください。

◆神戸牛バラスライスと玉ねぎの陶板焼き
◆シーフードマリネ
◆いかなご釘煮
◆ご飯、香の物、味噌汁
◆シャーベット

ご予約・お問い合わせはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10－8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com